

ダイワ新グローバル・ ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第13期

(決算日 2022年2月18日)

(作成対象期間 2021年8月19日~2022年2月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	2015年8月19日~2023年8月18日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>

<5669>

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託証 比	託券率	純総 資産額
		込	金	期	中					
	円	分	円	騰	率	%	%	%	%	百万円
9 期末 (2020年2月18日)	10,325		210	6.5		—		99.0		4,244
10 期末 (2020年8月18日)	9,772		150	△3.9		—		99.0		3,794
11 期末 (2021年2月18日)	10,147		185	5.7		—		99.1		3,541
12 期末 (2021年8月18日)	10,072		300	2.2		—		99.0		3,306
13 期末 (2022年2月18日)	9,518		130	△4.2		—		99.2		2,933

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

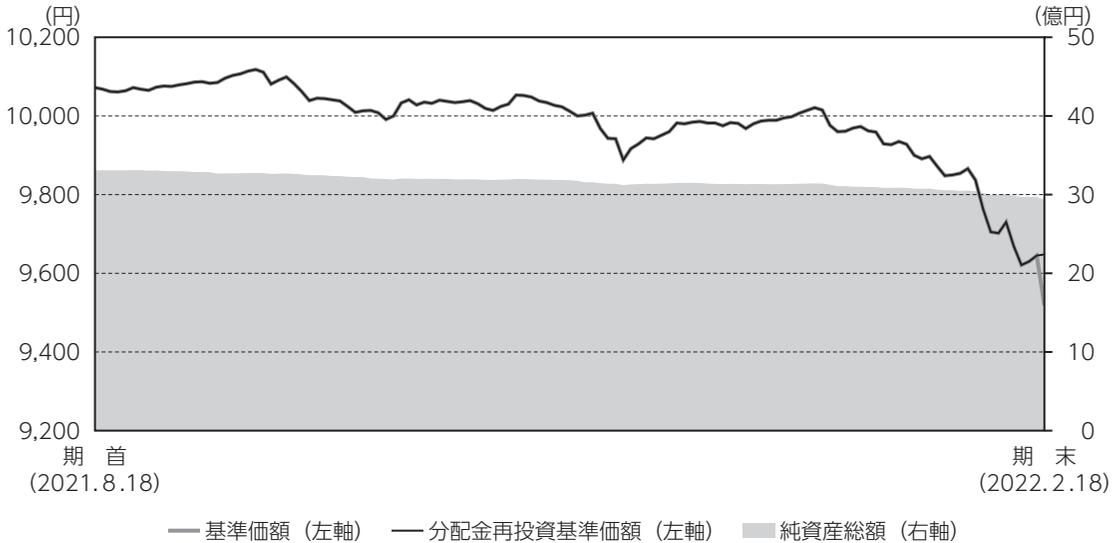
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,072円

期末：9,518円（分配金130円）

騰落率：△4.2%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、金融ハイブリッド証券市況が下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率				
(期首) 2021年 8月18日	円 10,072	% -	% -			% 99.0
8 月末	10,076	0.0	-			99.3
9 月末	10,045	△0.3	-			99.2
10月末	10,031	△0.4	-			99.6
11月末	9,917	△1.5	-			99.0
12月末	10,007	△0.6	-			99.3
2022年 1 月末	9,848	△2.2	-			98.3
(期末) 2022年 2月18日	9,648	△4.2	-			99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.8.19～2022.2.18)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は下落しました。

金融ハイブリッド証券市況は、信用スプレッド（国債との利回り格差）が拡大したことなどにより下落しました。資産別では、全般的に下落する中で、米国優先証券が最も下落しました。

海外債券市場では、当作成期首から2021年11月中旬にかけて、FOMC（米国連邦公開市場委員会）での市場の織り込みを上回る利上げ見通しや供給制約の長期化が懸念される中でインフレが意識されたことなどにより、金利は上昇傾向となりました。その後12月上旬にかけては、新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株への懸念などから金利は低下しました。当作成期末にかけては、今後の金融政策正常化観測が強まったことから金利は上昇基調で推移しました。

信用スプレッドは、当作成期首から2021年11月中旬にかけて、欧州の新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）への警戒感などが嫌気され、拡大しました。その後2022年1月初旬にかけては、オミクロン株への過度な警戒感が後退して景気に対する楽観的な見方が強まると、スプレッドは縮小基調に転じました。当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）によるタカ派的な発言やロシアによるウクライナ侵攻をめぐる懸念などを背景に、スプレッドは再び拡大しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。通常の状態では、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）：ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.8.19～2022.2.18)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

G-SIFIs（※1）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。資産別では、C o C o 債（※2）や米国優先証券を中心にファンダメンタルズ対比で割安な銘柄に投資を行いました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

※1 G-SIFIs：金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関。

※2 C o C o 債：特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o 条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年8月19日 ～2022年2月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	130
対基準価額比率	（%）	1.35
当期の収益	（円）	130
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	309

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	133.43円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		21.94
(d) 分配準備積立金		284.18
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		439.57
(f) 分配金		130.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		309.57

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.8.19~2022.2.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	65円	0.651%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,982円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	65	0.656	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

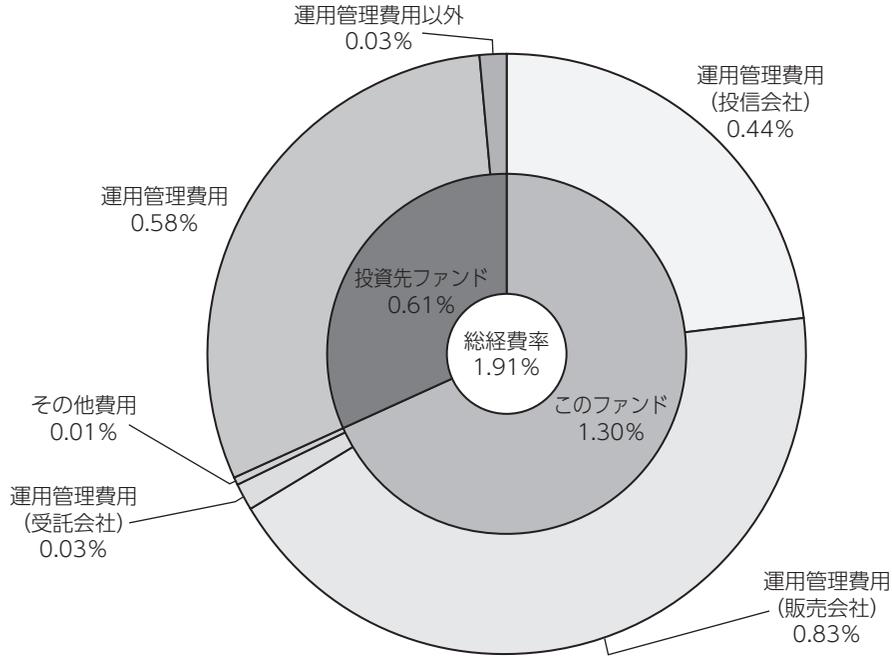
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率 (①+②+③)	1.91%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2021年8月19日から2022年2月18日まで）

国	内	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	14,839.731	15,000	199,892.979	206,000

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券	千口	千円	%
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	2,960,647.503	2,909,428	99.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	□ 数	□ 数 評 価 額
	千口	千口 千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0 0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年2月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,909,428	97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	88,321	2.9
投資信託財産総額	2,997,750	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,997,750,496円
コール・ローン等	88,321,198
投資信託受益証券(評価額)	2,909,428,301
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	997
(B) 負債	63,767,416
未払収益分配金	40,072,962
未払解約金	2,889,000
未払信託報酬	20,673,594
その他未払費用	131,860
(C) 純資産総額(A - B)	2,933,983,080
元本	3,082,535,539
次期繰越損益金	△ 148,552,459
(D) 受益権総口数	3,082,535,539口
1万口当り基準価額(C/D)	9,518円

* 期首における元本額は3,283,411,289円、当作成期間中における追加設定元本額は4,472,292円、同解約元本額は205,348,042円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,518円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は148,552,459円です。

■損益の状況

当期 自2021年8月19日 至2022年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	61,938,429円
受取配当金	61,945,289
受取利息	180
支払利息	△ 7,040
(B) 有価証券売買損益	△171,709,294
売買益	1,657,827
売買損	△173,367,121
(C) 信託報酬等	△ 20,805,454
(D) 当期損益金(A + B + C)	△130,576,319
(E) 前期繰越損益金	19,704,527
(F) 追加信託差損益金	2,392,295
(配当等相当額)	(6,766,139)
(売買損益相当額)	(△ 4,373,844)
(G) 合計(D + E + F)	△108,479,497
(H) 収益分配金	△ 40,072,962
次期繰越損益金(G + H)	△148,552,459
追加信託差損益金	2,392,295
(配当等相当額)	(6,766,139)
(売買損益相当額)	(△ 4,373,844)
分配準備積立金	88,660,299
繰越損益金	△239,605,053

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	41,132,975円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	6,766,139
(d) 分配準備積立金	87,600,286
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	135,499,400
(f) 分配金	40,072,962
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	95,426,438
(h) 受益権総口数	3,082,535,539口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	130円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率		公社債組入比率	投受組 資益入	信託証 比	託券率	純総 資産額
		込	金	期	中					
	円	分	円	騰	率	%	%	%	%	百万円
9 期末 (2020年2月18日)	9,626		200		9.8	—		99.0		932
10 期末 (2020年8月18日)	9,056		140	△	4.5	—		98.9		860
11 期末 (2021年2月18日)	9,467		170		6.4	—		99.0		830
12 期末 (2021年8月18日)	9,692		255		5.1	—		99.2		809
13 期末 (2022年2月18日)	9,536		125	△	0.3	—		98.5		792

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,692円

期末：9,536円（分配金125円）

騰落率：△0.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

世界の金融機関（関連会社等を含みます。以下同じ。）が発行するハイブリッド証券に投資した結果、為替相場が円安となったことはプラス要因となりましたが、金融ハイブリッド証券市況が下落したことが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比	債 率	投 資 組 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落	率					
(期首) 2021年 8月18日	円 9,692	% -		% -			% 99.2
8 月末	9,746	0.6		-			98.9
9 月末	9,841	1.5		-			99.0
10月末	10,007	3.3		-			99.3
11月末	9,800	1.1		-			99.4
12月末	10,020	3.4		-			99.5
2022年 1 月末	9,855	1.7		-			98.1
(期末) 2022年 2月18日	9,661	△0.3		-			98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.8.19~2022.2.18)

■金融ハイブリッド証券市況

金融ハイブリッド証券市況は下落しました。

金融ハイブリッド証券市況は、信用スプレッド（国債との利回り格差）が拡大したことなどにより下落しました。資産別では、全般的に下落する中で、米国優先証券が最も下落しました。

海外債券市場では、当作成期首から2021年11月中旬にかけて、FOMC（米国連邦公開市場委員会）での市場の織り込みを上回る利上げ見通しや供給制約の長期化が懸念される中でインフレが意識されたことなどにより、金利は上昇傾向となりました。その後12月上旬にかけては、新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株への懸念などから金利は低下しました。当作成期末にかけては、今後の金融政策正常化観測が強まったことから金利は上昇基調で推移しました。

信用スプレッドは、当作成期首から2021年11月中旬にかけて、欧州の新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）への警戒感などが嫌気され、拡大しました。その後2022年1月初旬にかけては、オミクロン株への過度な警戒感が後退して景気に対する楽観的な見方が強まると、スプレッドは縮小基調に転じました。当作成期末にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）によるタカ派的な発言やロシアによるウクライナ侵攻をめぐる懸念などを背景に、スプレッドは再び拡大しました。

■為替相場

為替相場は、円安米ドル高および円安ユーロ高となりました。

米ドル円為替相場は、当作成期首から2021年9月中旬にかけて一進一退の展開でしたが、その後はFOMC（米国連邦公開市場委員会）において市場の織り込みを上回る利上げ見通しが出されると、急速に円安米ドル高が進行しました。当作成期末にかけても、米国の早期利上げ観測が高まったことなどから円安米ドル高基調で推移しました。

ユーロ円為替相場は、当作成期首から2021年10月初旬にかけて、ECB（欧州中央銀行）の金融政策に対する思惑に左右される展開となりました。10月中旬には急速に円安ユーロ高が進行したものの、その後12月初旬にかけては、ユーロ圏内の新型コロナウイルス感染者数の増加に加え、新たな変異株であるオミクロン株の感染拡大懸念から円高ユーロ安となりました。当作成期末にかけては、欧州諸国の金利上昇を受けて再び円安ユーロ高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）：A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.8.19~2022.2.18)

■当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

G-SIFIs（※1）を中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行いました。資産別では、C o C o 債（※2）や米国優先証券を中心にファンダメンタルズ対比で割安な銘柄に投資を行いました。

※1 G-SIFIs：金融システム上、世界経済に与える影響が極めて大きい重要な金融機関。

※2 C o C o 債：特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o 条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年8月19日 ～2022年2月18日	
当期分配金（税込み） (円)		125
対基準価額比率 (%)		1.29
当期の収益 (円)		125
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		8

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	129.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4.42
(d) 分配準備積立金		0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		133.90
(f) 分配金		125.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		8.90

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。通常の状態で、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021.8.19~2022.2.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.651%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,867円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	65	0.655	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

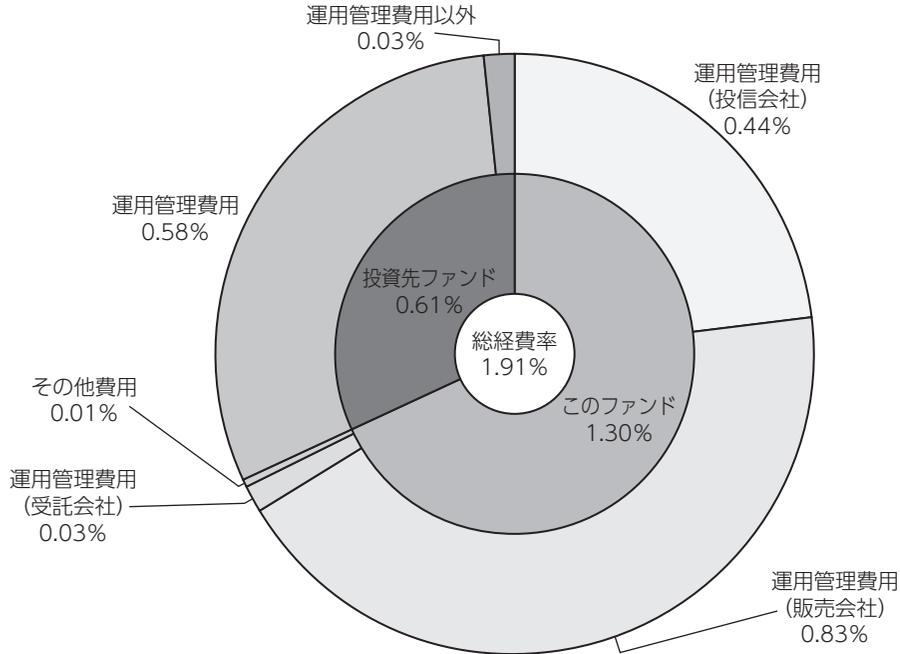
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率 (①+②+③)	1.91%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2021年8月19日から2022年2月18日まで)

国	内	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	8,063.704	8,000	17,683.686	18,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券 ファンド(為替ヘッジなし)(適格機	千口 801,189.93	千円 780,278	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年2月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	780,278	96.5
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	27,900	3.5
投資信託財産総額	808,179	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	808,179,983円
コール・ローン等	27,900,114
投資信託受益証券(評価額)	780,278,872
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	997
(B) 負債	15,766,407
未払収益分配金	10,387,584
未払信託報酬	5,344,802
その他未払費用	34,021
(C) 純資産総額(A - B)	792,413,576
元本	831,006,764
次期繰越損益金	△ 38,593,188
(D) 受益権総口数	831,006,764口
1万口当り基準価額(C / D)	9,536円

* 期首における元本額は835,640,991円、当作成期間中における追加設定元本額は13,257,644円、同解約元本額は17,891,871円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,536円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は38,593,188円です。

■損益の状況

当期 自2021年8月19日 至2022年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,138,306円
受取配当金	16,140,003
受取利息	24
支払利息	△ 1,721
(B) 有価証券売買損益	△13,521,066
売買益	479,335
売買損	△14,000,401
(C) 信託報酬等	△ 5,378,823
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 2,761,583
(E) 前期繰越損益金	△14,092,730
(F) 追加信託差損益金	△11,351,291
(配当等相当額)	(367,904)
(売買損益相当額)	(△11,719,195)
(G) 合計(D + E + F)	△28,205,604
(H) 収益分配金	△10,387,584
次期繰越損益金(G + H)	△38,593,188
追加信託差損益金	△11,351,291
(配当等相当額)	(367,904)
(売買損益相当額)	(△11,719,195)
分配準備積立金	371,899
繰越損益金	△27,613,796

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,759,483円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	367,904
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	11,127,387
(f) 分配金	10,387,584
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	739,803
(h) 受益権総口数	831,006,764口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	125 円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年2月18日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年8月19日～2022年2月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年2月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2021年12月9日)

(作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

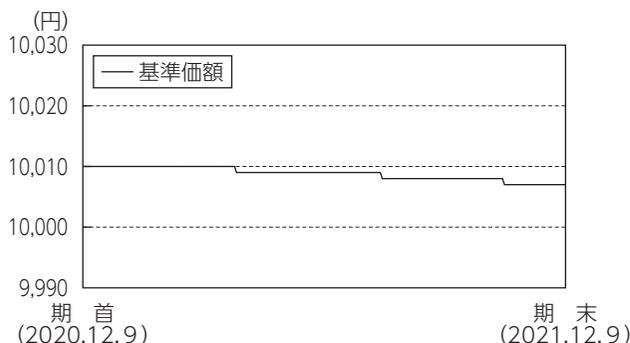
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首)2020年12月9日	円	%	%
12月末	10,010	0.0	-
2021年1月末	10,010	0.0	-
2月末	10,010	0.0	-
3月末	10,010	0.0	-
4月末	10,009	△0.0	-
5月末	10,009	△0.0	-
6月末	10,009	△0.0	-
7月末	10,008	△0.0	-
8月末	10,008	△0.0	-
9月末	10,008	△0.0	-
10月末	10,007	△0.0	-
11月末	10,007	△0.0	-
(期末)2021年12月9日	10,007	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,010円 期末：10,007円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 147,987,988	% 100.0
投資信託財産総額	147,987,988	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	147,987,988,484円
コール・ローン等	147,987,988,484
(B) 負債	210,000,000
未払解約金	210,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	147,777,988,484
元本	147,676,216,454
次期繰越損益金	101,772,030
(D) 受益権総口数	147,676,216,454口
1万口当り基準価額(C/D)	10,007円

* 期首における元本額は88,319,921,795円、当作成期間中における追加設定元本額は176,557,677,368円、同解約元本額は117,201,382,709円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

日本株ロング・ショート戦略パレットファンド (適格機関投資家専用)	266,761,115円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	947,268円
ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド - インドの匠	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり)	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし)	998円
US短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型)	3,985円
- ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり)	
i Freeレバレッジ S&P500	8,293,797,395円
i Freeレバレッジ NASDAQ100	70,959,132,903円
クリーンテック株式ファンド (資産成長型)	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想配分提示型)	999円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	1,000円
世界インフラ戦略ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円
ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス	5,345,339,466円
ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス	6,483,785,045円
ダイワ上場投信-TOP1Xレバレッジ(2倍) 指数	1,334,794,630円
ダイワ上場投信-TOP1Xダブルインバース(-2倍) 指数	936,360,631円
ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス	6,676,062,567円
ダイワ上場投信-TOP1Xインバース(-1倍) 指数	3,084,973,807円
ダイワ上場投信-JPX日経400レバレッジ・インデックス	574,295,634円
ダイワ上場投信-JPX日経400インバース・インデックス	861,497,868円
ダイワ上場投信-JPX日経400ダブルインバース・インデックス	104,920,073円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07	997円
ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10	997円
先進国トータルリターン戦略ファンド (リスクリミット/適格機関投資家専用)	6,988,339,549円
ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用)	101,154,451円
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S1トレード	301,448,680円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6	16,464,882,107円
ブル3倍日本株ポートフォリオ6	17,685,532,691円
ベア2倍日本株ポートフォリオ6	1,058,922,067円
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	89,553,240円
ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ	2,938,475円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型)	595,106円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	987,373円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	494,581円
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	997円
ダイワ/ミレニアセット亜細亜株式ファンド	9,958,176円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -	100,588円

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)	399,083円
ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)	99,771円
通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)	399,083円
通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)	99,771円
ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり)	1,091,429円
ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし)	315,004円
ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	10,009,811円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	99,691円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	398,764円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想配分提示型 日本円・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想配分提示型 豪ドル・コース	200,861円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想配分提示型 ブラジル・リアル・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想配分提示型 米ドル・コース	1,999,177円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想配分提示型 通貨セレクト・コース	505,900円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,007円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 31,130,963円
受取利息	469,134
支払利息	△ 31,600,097
(B) その他費用	△ 147,839
(C) 当期損益金(A + B)	△ 31,278,802
(D) 前期繰越損益金	90,693,506
(E) 解約差損益金	△106,126,697
(F) 追加信託差損益金	148,484,023
(G) 合計(C + D + E + F)	101,772,030
次期繰越損益金(G)	101,772,030

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
 第13期 (決算日2022年1月18日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	2023年8月17日まで (信託設定日：2015年8月20日)	
運用方針	① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。 ② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。 ③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 ② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第13期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
 お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			期 騰 落 中 率		ハイブリッド証券 優 先 株 債 券 組 入 比 率		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		円	円	%	%	%	%			
9期 (2020年1月20日)	10,296	240	5.0	—	97.7	—	—	—	—	百万円 4,197
10期 (2020年7月20日)	9,709	223	△3.5	—	98.2	—	—	—	—	3,674
11期 (2021年1月18日)	10,227	217	7.6	0.8	96.8	—	—	—	—	3,544
12期 (2021年7月19日)	10,356	216	3.4	—	97.1	—	—	—	—	3,301
13期 (2022年1月18日)	10,138	209	△0.1	1.4	95.5	—	—	—	—	3,022

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	債 券 率
			優 先 株 債 券 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2021年7月19日	円 10,356	% —	% —	% 97.1	% —	% —
7 月 末	10,379	0.2	1.2	95.2	—	—
8 月 末	10,417	0.6	1.3	95.9	—	—
9 月 末	10,396	0.4	1.3	98.1	—	—
10 月 末	10,392	0.3	1.3	98.4	—	—
11 月 末	10,285	△0.7	1.3	96.4	—	—
12 月 末	10,390	0.3	1.4	98.0	—	—
(期 末) 2022年1月18日	10,347	△0.1	1.4	95.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

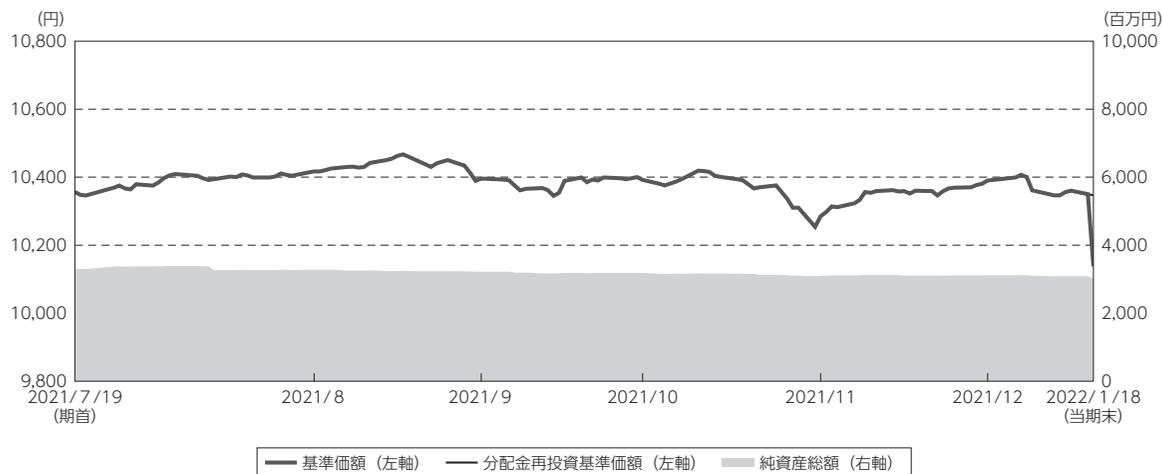
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2021年7月20日～2022年1月18日）



期首：10,356円
 期末：10,138円（既払分配金（税込み）：209円）
 騰落率：-0.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年7月19日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比0.1%の下落*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジ・コスト
- ・保有するハイブリッド証券の価格下落

投資環境

（2021年7月20日～2022年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて下落しました。

期初から2021年9月中旬にかけてはおおむね堅調な米国株式市場の流れや、ジャクソンホール会議で利上げを急がない姿勢が示され安心感が広がったことからスプレッドは縮小基調で推移しました。11月中旬にかけては、欧州の新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンへの警戒感や、新たな変異株（オミクロン株）が確認されたことなどが嫌気されスプレッドは急速に拡大しました。その後期末にかけては、オミクロン株への過度な警戒感が後退したことで経済情勢に対する楽観的な見方が強まるとスプレッドは再び縮小基調で推移しました。

証券種別では、いずれも下落した中で、劣後債が最も下落した一方、株式市場との連動性が高いCoCo債の下落幅は相対的に小さめとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年7月20日～2022年1月18日）

<当ファンド>

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

<マザーファンド>

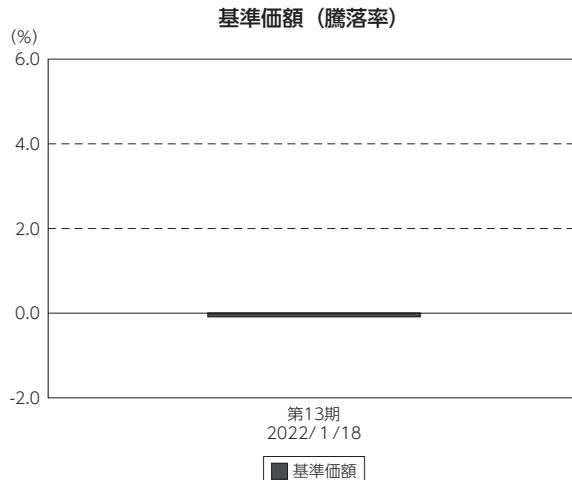
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、優先証券（従来型）の組入比率が最も上昇した一方で、劣後債（バーゼルⅢ対応型）の組入比率が最も低下しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年7月20日～2022年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2021年7月20日～2022年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、209円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2021年7月20日～ 2022年1月18日
当期分配金	209
（対基準価額比率）	2.020%
当期の収益	209
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	735

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、オミクロン株の影響による不確実性が残るものの、ワクチン接種や治療薬の開発が進展していることを背景に、2022年も比較的堅調な成長になると予想しています。欧米や一部の新興国で新規感染者数が増加しており、オミクロン株の感染拡大で再びロックダウンが強化されるかどうかについては慎重な見極めが必要です。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組が進捗してきたことから、世界経済が回復基調にある中、金融機関の信用力は十分な健全性を有しているとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタルズ対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2021年7月20日～2022年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 30 (29) (0) (1)	% 0.292 (0.276) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (0) (1) (0)	0.016 (0.004) (0.012) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	32	0.308	
期中の平均基準価額は、10,376円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年1月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 73,586	千円 100,577	千口 356,779	千円 495,958

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期 首 (前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 2,406,316	千口 2,123,123	千円 2,986,809

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年1月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 2,986,809	% 96.5
コール・ローン等、その他	107,421	3.5
投資信託財産総額	3,094,230	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,862,618千円）の投資信託財産総額（3,873,190千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=114.56円、1ユーロ=130.79円、1英ポンド=156.42円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年1月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,382,300,570
コール・ローン等	1,654,928
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	2,986,809,612
未収入金	3,393,836,030
(B) 負債	3,360,123,759
未払金	3,288,077,325
未払収益分配金	62,305,525
未払信託報酬	9,355,905
未払利息	4
その他未払費用	385,000
(C) 純資産総額(A - B)	3,022,176,811
元本	2,981,125,633
次期繰越損益金	41,051,178
(D) 受益権総口数	2,981,125,633口
1万口当たり基準価額(C / D)	10,138円

(注) 期首元本額 3,187,750,078円、期中追加設定元本額 65,725,885円、期中一部解約元本額 272,350,330円。当期末現在における1口当たり純資産額 1.0138円。

○損益の状況（2021年7月20日～2022年1月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 3,662
支払利息	△ 3,662
(B) 有価証券売買損益	7,172,468
売買益	198,209,285
売買損	△ 191,036,817
(C) 信託報酬等	△ 9,746,848
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 2,578,042
(E) 前期繰越損益金	113,644,503
(F) 追加信託差損益金	△ 7,709,758
(配当等相当額)	(26,941,231)
(売買損益相当額)	(△ 34,650,989)
(G) 計(D + E + F)	103,356,703
(H) 収益分配金	△ 62,305,525
次期繰越損益金(G + H)	41,051,178
追加信託差損益金	△ 7,709,758
(配当等相当額)	(27,034,911)
(売買損益相当額)	(△ 34,744,669)
分配準備積立金	192,318,250
繰越損益金	△ 143,557,314

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 第13期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(62,500,109円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(27,034,911円)および分配準備積立金額(192,123,666円)より分配対象収益額は281,658,686円(10,000口当たり944円)であり、うち62,305,525円(10,000口当たり209円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	209円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額			ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	騰 落 率	中 率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
9 期 (2020年1月20日)	円 9,643	円 218	% 7.6	% -	% 96.5	% -	百万円 925	
10期 (2020年7月20日)	8,951	206	△5.0	-	98.1	-	834	
11期 (2021年1月18日)	9,299	199	6.1	0.8	97.3	-	800	
12期 (2021年7月19日)	9,911	205	8.8	-	98.1	-	825	
13期 (2022年1月18日)	10,029	204	3.2	1.4	96.6	-	795	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		ハイブリッド証券		債 券 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率	率	優 先 株 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率		
(期 首) 2021年7月19日	円 9,911	% -	% -	% 98.1	% -	% -	
7 月 末	9,923	0.1	1.2	95.9	-	-	
8 月 末	9,970	0.6	1.3	96.2	-	-	
9 月 末	10,079	1.7	1.3	97.3	-	-	
10月 末	10,261	3.5	1.3	97.0	-	-	
11月 末	10,059	1.5	1.3	96.9	-	-	
12月 末	10,298	3.9	1.3	96.9	-	-	
(期 末) 2022年1月18日	10,233	3.2	1.4	96.6	-	-	

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「優先株組入比率」「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークについて

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2021年7月20日～2022年1月18日）



期首：9,911円
 期末：10,029円（既払分配金（税込み）：204円）
 騰落率：3.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年7月19日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注）上記期末基準価額は、分配落ち後の価額を表示いたします。

○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、前期末比3.2%の上昇*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・円安ドル高
- ・円安ユーロ高

<値下がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券の価格下落

投資環境

（2021年7月20日～2022年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて下落しました。

期初から2021年9月中旬にかけてはおおむね堅調な米国株式市場の流れや、ジャクソンホール会議で利上げを急がない姿勢が示され安心感が広がったことからスプレッドは縮小基調で推移しました。11月中旬にかけては、欧州の新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンへの警戒感や、新たな変異株（オミクロン株）が確認されたことなどが嫌気されスプレッドは急速に拡大しました。その後期末にかけては、オミクロン株への過度な警戒感が後退したことで経済情勢に対する楽観的な見方が強まるとスプレッドは再び縮小基調で推移しました。

証券種別では、いずれも下落した中で、劣後債が最も下落した一方、株式市場との連動性が高いCoCo債の下落幅は相対的に小さめとなりました。

為替市場においては、前期末に比べて円安ドル高および円安ユーロ高となりました。

円ドル・レートは、期初から2021年9月中旬にかけては、アフガニстанを巡る地政学リスクの高まりを受け安全資産である円が買われた一方、米国の堅調な雇用統計などを受けドルが買い戻されるなど、一進一退の展開となりました。その後期末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）において早期のテーパリング開始が示唆され米国国債金利が上昇したことなどから急速に円安ドル高が進行しました。

円ユーロ・レートは、期初から2021年10月初旬にかけては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策に対する思惑に左右される展開となりました。10月中旬に入るとインフレ懸念が緩和され急速に円安が進行したものの、その後12月初旬にかけては、ユーロ圏内のコロナ感染者の増加に加えオミクロン株の拡大懸念から急速に円が戻りました。期末にかけては、欧州諸国の金利上昇を受け再び円安ユーロ高が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2021年7月20日～2022年1月18日）

<当ファンド>

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります。）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通じてほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンド>

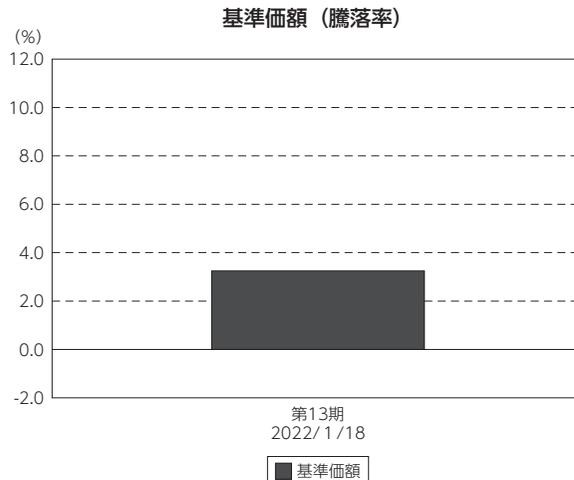
世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、優先証券（従来型）の組入比率が最も上昇した一方で、劣後債（バーゼルⅢ対応型）の組入比率が最も低下しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年7月20日～2022年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2021年7月20日～2022年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、204円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第13期
	2021年7月20日～ 2022年1月18日
当期分配金	204
（対基準価額比率）	1.994%
当期の収益	204
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	460

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、オミクロン株の影響による不確実性が残るものの、ワクチン接種や治療薬の開発が進展していることを背景に、2022年も比較的堅調な成長になると予想しています。欧米や一部の新興国で新規感染者数が増加しており、オミクロン株の感染拡大で再びロックダウンが強化されるかどうかについては慎重な見極めが必要です。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組が進捗してきたことから、世界経済が回復基調にある中、金融機関の信用力は十分な健全性を有しているとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタルズ対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2021年7月20日～2022年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 30 (28) (0) (1)	% 0.292 (0.276) (0.003) (0.014)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (0) (1) (0)	0.017 (0.004) (0.013) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	32	0.309	
期中の平均基準価額は、10,098円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年1月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千□	千円	千□	千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		7,384	10,093	49,632	68,800

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月18日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期 首 (前期末)	当 期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額
		千□	千□	千円
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		607,593	565,344	795,327

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年1月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 795,327	% 97.7
コール・ローン等、その他	18,810	2.3
投資信託財産総額	814,137	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,862,618千円）の投資信託財産総額（3,873,190千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=114.56円、1ユーロ=130.79円、1英ポンド=156.42円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年1月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	814,137,019	
コール・ローン等	10,004	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	795,327,015	
未収入金	18,800,000	
(B) 負債	18,681,494	
未払収益分配金	16,179,775	
未払信託報酬	2,391,719	
その他未払費用	110,000	
(C) 純資産総額(A - B)	795,455,525	
元本	793,126,226	
次期繰越損益金	2,329,299	
(D) 受益権総口数	793,126,226	口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,029	円

(注) 期首元本額832,757,225円、期中追加設定元本額10,097,951円、期中一部解約元本額49,728,950円。当期末現在における1口当たり純資産額1.0029円。

○損益の状況（2021年7月20日～2022年1月18日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	28,086,047	
売買益	28,800,702	
売買損	△ 714,655	
(B) 信託報酬等	△ 2,501,719	
(C) 当期損益金(A + B)	25,584,328	
(D) 前期繰越損益金	9,315,392	
(E) 追加信託差損益金	△16,390,646	
(配当等相当額)	(6,685,592)	
(売買損益相当額)	(△23,076,238)	
(F) 計(C + D + E)	18,509,074	
(G) 収益分配金	△16,179,775	
次期繰越損益金(F + G)	2,329,299	
追加信託差損益金	△16,390,646	
(配当等相当額)	(6,699,447)	
(売買損益相当額)	(△23,090,093)	
分配準備積立金	29,861,856	
繰越損益金	△11,141,911	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (B)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 第13期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(17,070,605円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、収益調整金額(6,699,447円)および分配準備積立金額(28,971,026円)より分配対象収益額は52,741,078円(10,000口当たり664円)であり、うち16,179,775円(10,000口当たり204円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	204円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2022年1月18日現在）

< A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド >

下記は、A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド全体（2,688,467千口）の内容です。

ハイブリッド証券

優先株

銘柄	株数	期首(前期末)	当期		業種等
		株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) WELLS FARGO & CO Pfd	百株 -	百株 186	千米ドル 455	千円 52,137	銀行
合計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	- -	186 1	455 -	52,137 <1.4%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 債券種類別開示

区分	額面金額	当期		期末		残存期間別組入比率		
		評価額		組入比率	うちB B格 以下組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
アメリカ	千米ドル 21,633	千米ドル 23,122	千円 2,648,955	% 70.0	% 13.2	% 70.0	% -	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリヤ	290	346	45,382	1.2	1.2	1.2	-	-
オランダ	1,600	1,692	221,393	5.9	-	5.9	-	-
スペイン	2,600	2,793	365,366	9.7	9.7	9.7	-	-
ベルギー	200	208	27,272	0.7	-	0.7	-	-
その他	1,152	1,232	161,174	4.3	-	4.3	-	-
イギリス	千英ポンド 1,341	千英ポンド 1,188	185,966	4.9	-	4.9	-	-
合計	-	-	3,655,509	96.7	24.0	96.7	-	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 格付はムーディーズとS & Pの二社のうちいずれか高い方を採用して集計したものです。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（適格機関投資家専用）

(B) 外国（外貨建）公社債 個別銘柄開示

銘柄	柄	当期				償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
%	千米ドル	千米ドル	千円			
アメリカ	ハイブリッド証券等					
	ALLY FINANCIAL INC	4.7	290	299	34,366	2099/11/15
	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	6.5	200	212	24,336	2099/12/5
	BANK OF AMERICA CORP	8.05	1,303	1,591	182,320	2027/6/15
	BANK OF NY MELLON CORP	3.75	710	705	80,860	2099/12/20
	CHARLES SCHWAB CORP	4.0	585	595	68,185	2099/12/1
	CITIGROUP INC	5.95	98	100	11,532	2099/7/30
	CITIGROUP INC	6.25	822	922	105,624	2099/8/15
	CITIGROUP INC	4.0	292	292	33,526	2099/12/10
	CREDIT AGRICOLE SA	6.875	350	379	43,462	2099/9/23
	CREDIT SUISSE GROUP	7.5	810	848	97,256	2099/7/17
	CREDIT SUISSE GROUP	6.375	249	265	30,383	2099/8/21
	CREDIT SUISSE GROUP	6.25	1,395	1,479	169,500	2099/12/18
	DISCOVER FINANCIAL SVS	6.125	667	731	83,767	2099/9/23
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.0	1,000	991	113,609	2099/11/10
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	4.125	139	139	15,959	2099/11/10
	HSBC HOLDINGS PLC	6.375	1,007	1,080	123,748	2099/9/30
	JPMORGAN CHASE & CO	5.0	487	502	57,529	2099/8/1
	JPMORGAN CHASE & CO	5.15	177	181	20,781	2099/11/1
	LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,175	1,633	187,123	2037/3/15
	M&T BANK CORPORATION	3.5	127	123	14,128	2099/9/1
	NATWEST GROUP PLC	2.54375	1,600	1,592	182,462	2099/9/30
	NORDEA BANK AB	6.625	580	651	74,667	2099/9/26
	SOCIETE GENERALE	7.875	468	506	58,063	2099/12/18
	STANDARD CHARTERED PLC	1.63863	1,600	1,547	177,239	2099/7/30
	SWEDBANK AB	5.625	200	211	24,231	2099/9/17
	SWEDBANK AB	4.0	200	189	21,762	2099/9/17
	TRUIST FINANCIAL CORP	5.1	663	737	84,490	2099/9/1
	UBS GROUP AG	5.0	395	394	45,202	2099/1/31
	UBS GROUP AG	5.125	465	488	55,990	2099/7/29
	UBS GROUP AG	4.875	695	700	80,295	2099/8/12
	UBS GROUP FUNDING SWITZE	6.875	1,150	1,265	144,935	2099/8/7
	US BANCORP	3.7	535	531	60,837	2099/10/15
	WELLS FARGO & CO	5.875	214	231	26,563	2099/12/15
	WELLS FARGO & CO	3.9	985	996	114,204	2099/12/15
小	計				2,648,955	

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド（適格機関投資家専用）

銘柄	柄	当期末					
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
イタリア	ハイブリッド証券等	INTESA SANPAOLO SPA	7.75	290	346	45,382	2099/7/11
オランダ	ハイブリッド証券等	COOPERATIEVE RABOBANK UA	4.625	200	217	28,381	2099/12/29
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	3.25	600	607	79,398	2099/12/29
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	4.375	800	868	113,613	2099/12/29
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	5.875	600	607	79,458	2099/11/24
		BANCO SANTANDER SA	4.375	400	407	53,240	2099/10/14
		CAIXABANK SA	5.875	600	676	88,438	2099/10/9
		CAIXABANK SA	6.75	1,000	1,102	144,228	2099/12/13
ベルギー	ハイブリッド証券等	KBC GROUP NV	4.25	200	208	27,272	2099/10/24
その他	ハイブリッド証券等	HSBC HOLDINGS PLC	4.75	531	572	74,918	2099/7/4
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	257	275	36,049	2099/9/29
		LIBERTY MUTUAL GROUP	3.625	164	168	21,987	2059/5/23
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	4.947	200	215	28,217	2099/12/27
小計						820,588	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	ハイブリッド証券等	CITIGROUP CAPITAL XVIII	1.13725	1,341	1,188	185,966	2067/6/28
合計						3,655,509	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。



ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

第6期（決算日2021年7月19日）

（計算期間：2020年7月21日～2021年7月19日）

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	①世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目差して運用を行います。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関（関連会社等を含みます。）が発行する銘柄を中心に投資を行います。 ③ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。
主要運用対象	世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券） [*] を主要投資対象とします。 [*] C o C o条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	①外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ②株式への投資割合には、制限を設けません。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ハイブリッド証券			債 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 率	優 先 組 入 比 率	株 率	債 組 入 比 率		
2期 (2017年7月18日)	10,826	22.0	1.3	95.8	—	百万円 9,281	
3期 (2018年7月18日)	11,167	3.1	0.6	97.0	—	7,358	
4期 (2019年7月18日)	11,382	1.9	—	98.3	—	5,489	
5期 (2020年7月20日)	11,696	2.8	—	98.1	—	4,514	
6期 (2021年7月19日)	13,582	16.1	—	98.1	—	4,093	

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ハイブリッド証券			債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	優 先 組 入 比 率	株 率	債 組 入 比 率	
(期 首) 2020年7月20日	11,696	—	—	98.1	—	
7月末	11,629	△ 0.6	—	96.0	—	
8月末	11,994	2.5	—	98.1	—	
9月末	11,875	1.5	—	97.4	—	
10月末	11,841	1.2	0.7	97.4	—	
11月末	12,302	5.2	0.7	96.3	—	
12月末	12,427	6.3	0.8	97.2	—	
2021年1月末	12,526	7.1	0.8	96.5	—	
2月末	12,838	9.8	0.8	97.1	—	
3月末	13,259	13.4	—	97.6	—	
4月末	13,361	14.2	—	98.1	—	
5月末	13,548	15.8	—	97.7	—	
6月末	13,637	16.6	—	98.4	—	
(期 末) 2021年7月19日	13,582	16.1	—	98.1	—	

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

※参考指数について
当マザーファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、参考指数を設けておりません。

運用経過

A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

(2020年7月21日～2021年7月19日)

○期中の基準価額の推移



○基準価額等の推移

基準価額は、前期末比16.1%の上昇となりました。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有するハイブリッド証券のクーポン収入
- ・保有するハイブリッド証券の価格上昇
- ・円安ドル高
- ・円安ユーロ高

(2020年7月21日～2021年7月19日)

投資環境

当期のハイブリッド証券市場は、前期末に比べて上昇しました。

当期は、欧米の新型コロナウイルス感染拡大に伴い一時的にスプレッドが拡大する局面があったものの、世界的な金融緩和を背景に投資家のリスク選好が高まり、欧米の株式市場も堅調に推移したことから、スプレッドは期を通じて縮小基調で推移しました。

証券種別では、いずれも上昇した中で、株式市場との連動性が高いCoCo債が最も大きく上昇した一方、優先証券（従来型）の上昇幅は限定的でした。

為替市場においては、前期末に比べて円安ドル高、円安ユーロ高となりました。

円ドル・レートは、期初から2021年1月初旬にかけては、欧米での新型コロナウイルスの感染拡大による経済停滞の懸念からやや円高基調で推移しましたが、3月末にかけては米国国債金利の上昇に伴い大幅な円安ドル高が進行しました。4月に入り米国国債金利の上昇が一服するとやや円が戻したものの、4月下旬以降は、再び円安ドル高基調で推移しました。

円ユーロ・レートは、期初から2020年10月末にかけては、欧州での新型コロナウイルス感染者の増加を受けて円高ユーロ安が進行しました。その後2021年5月末にかけては、コロナ感染者の大幅減少に伴うユーロ圏経済の回復への期待が高まった一方で、日本での緊急事態宣言発出が嫌気され円安ユーロ高が進行しました。期末にかけては、欧州国債の金利低下や欧州中央銀行（ECB）のハト派姿勢などからややユーロが弱含みました。

運用概況

(2020年7月21日～2021年7月19日)

当マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs (Global Systemically Important Financial Institutions) に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、CoCo債の組入比率が上昇した一方で、劣後債（バーゼルⅢ対応型）の組入比率は低下しました。

今後の運用方針

世界経済は、新型コロナウイルスの影響により不確実性が残るものの、ワクチン接種の進展による患者数の減少や、インフラ投資をはじめとする新たな経済政策がけん引役として期待されます。主要国による過去最大級の財政政策や金融政策などが追い風となり、2021年および2022年の世界経済はプラス成長になると予想しています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容について最終合意に至り、バーゼルⅢ施行に向けた規制の強化と金融機関側の資本の積み増しやリスク削減の取組が進捗してきたことから、世界経済が回復基調にある中、金融機関の信用力は十分な健全性を有しているとみています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感の高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。また、引き続き個別証券の仕組みや価格動向、発行体の分析を行うことでコール見通しの評価を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年7月21日～2021年7月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 株)	0 (0)	0.000 (0.000)	(a)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.008	
期中の平均基準価額は、12,603円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年7月21日～2021年7月19日)

ハイブリッド証券

優先株

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国 アメリカ	百株 323	千米ドル 807	百株 323	千米ドル 821

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 単位未満は切り捨て。

公社債

		買 付 額		売 付 額	
外国	アメリカ	社債券	千米ドル 4,931	千米ドル 8,838	
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ	
	オランダ	社債券	884	1,632	
	スペイン	社債券	1,036	1,989	
	オーストリア	社債券	－	212	
	フィンランド	社債券	－	596	
	アイルランド	社債券	－	238	
	その他	社債券	271	979	

(注) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) ー印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2020年7月21日～2021年7月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年7月19日現在)

ハイブリッド証券

外国公社債

(A) 外国 (外貨建) 公社債 債券種類別開示

区 分	当 期		末					
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千米ドル 22,814	千米ドル 25,202	千円 2,769,210	% 67.6	% 15.3	% 66.4	% 1.2	% -
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
イタリヤ	1,090	1,212	157,244	3.8	3.8	3.8	-	-
オランダ	1,600	1,730	224,482	5.5	-	5.5	-	-
スペイン	3,500	3,790	491,575	12.0	12.0	12.0	-	-
ベルギー	200	212	27,591	0.7	-	0.7	-	-
その他	1,152	1,275	165,373	4.0	-	4.0	-	-
イギリス	千英ポンド 1,341	千英ポンド 1,192	180,238	4.4	-	4.4	-	-
合 計	-	-	4,015,716	98.1	31.2	96.9	1.2	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 格付はムーディーズとS&Pのうちいずれか高い方を採用して集計したものです。

(B) 外国 (外貨建) 公社債 個別銘柄開示

銘	柄	当 期		末		
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
	ハイブリッド証券等	4.7	290	304	33,410	2099/11/15
		4.7	152	157	17,343	2099/11/15
		6.5	200	218	23,985	2099/12/5
		8.05	1,413	1,817	199,709	2027/6/15
		4.0	585	612	67,281	2099/12/1
		5.95	98	103	11,344	2099/7/30
		6.25	822	960	105,564	2099/8/15
		4.0	292	302	33,243	2099/12/10
		6.875	350	391	43,057	2099/9/23
		7.5	810	876	96,329	2099/7/17

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

銘柄	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	ハイブリッド証券等	CREDIT SUISSE GROUP	6.375	249	276	30,400	2099/8/21
		CREDIT SUISSE GROUP	6.25	1,395	1,527	167,829	2099/12/18
		DEUTSCHE BANK AG	4.5	430	463	50,955	2025/4/1
		DISCOVER FINANCIAL SVS	6.125	1,217	1,370	150,574	2099/9/23
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.0	565	575	63,256	2099/11/10
		HSBC HOLDINGS PLC	6.375	1,007	1,122	123,359	2099/9/30
		JPMORGAN CHASE & CO	5.0	487	514	56,546	2099/8/1
		JPMORGAN CHASE & CO	5.15	177	183	20,151	2099/11/1
		LIBERTY MUTUAL GROUP	7.8	1,340	1,769	194,435	2037/3/15
		NATWEST GROUP PLC	2.46725	1,900	1,893	208,007	2099/9/30
		NORDEA BANK AB	6.625	580	665	73,177	2099/9/26
		SOCIETE GENERALE	7.875	468	523	57,477	2099/12/18
		STANDARD CHARTERED PLC	1.6955	1,700	1,647	181,038	2099/7/30
		SWEDBANK AB	5.625	200	216	23,762	2099/9/17
		TRUIST FINANCIAL CORP	5.1	663	757	83,206	2099/9/1
		TRUIST FINANCIAL CORP	4.95	1,215	1,337	146,969	2099/12/1
		UBS GROUP AG	5.0	395	402	44,224	2099/1/31
		UBS GROUP AG	5.125	465	508	55,845	2099/7/29
		UBS GROUP FUNDING SWITZE	6.875	1,150	1,314	144,438	2099/8/7
		WELLS FARGO & CO	5.875	1,214	1,365	150,025	2099/12/15
		WELLS FARGO & CO	3.9	985	1,021	112,254	2099/12/15
小	計					2,769,210	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
イタリア	ハイブリッド証券等	INTESA SANPAOLO SPA	7.75	290	356	46,254	2099/7/11
		UNICREDIT SPA	9.25	800	855	110,989	2099/12/3
オランダ	ハイブリッド証券等	COOPERATIEVE RABOBANK UA	4.625	200	220	28,595	2099/12/29
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	3.25	600	620	80,426	2099/12/29
		COOPERATIEVE RABOBANK UA	4.375	800	890	115,460	2099/12/29
スペイン	ハイブリッド証券等	BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	5.875	600	623	80,821	2099/11/24
		BANCO SANTANDER SA	4.375	400	415	53,902	2099/10/14
		BANCO SANTANDER SA	6.75	900	936	121,437	2099/10/25
		CAIXABANK SA	5.875	600	689	89,360	2099/10/9
		CAIXABANK SA	6.75	1,000	1,126	146,052	2099/12/13
ベルギー	ハイブリッド証券等	KBC GROUP NV	4.25	200	212	27,591	2099/10/24
その他	ハイブリッド証券等	HSBC HOLDINGS PLC	4.75	531	601	78,041	2099/7/4
		HSBC HOLDINGS PLC	6.0	257	281	36,499	2099/9/29
		LIBERTY MUTUAL GROUP	3.625	164	171	22,203	2059/5/23
		LLOYDS BANKING GROUP PLC	4.947	200	220	28,629	2099/12/27
小	計					1,066,267	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	ハイブリッド証券等	CITIGROUP CAPITAL XVIII	0.9675	1,341	1,192	180,238	2067/6/28
合	計					4,015,716	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付を入れております。

○投資信託財産の構成

(2021年7月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 4,015,716	% 95.8
コール・ローン等、その他	176,739	4.2
投資信託財産総額	4,192,455	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (4,184,251千円) の投資信託財産総額 (4,192,455千円) に対する比率は99.8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート (各1通貨単位当たり) は、1米ドル=109.88円、1ユーロ=129.69円、1英ポンド=151.13円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年7月19日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,290,626,427 円
コール・ローン等	25,806,797
公社債 (評価額)	4,015,716,170
未収入金	202,047,920
未収利息	46,784,274
前払費用	271,266
(B) 負債	197,178,033
未払金	98,178,013
未払解約金	99,000,000
未払利息	20
(C) 純資産総額(A - B)	4,093,448,394
元本	3,013,910,060
次期繰越損益金	1,079,538,334
(D) 受益権総口数	3,013,910,060口
1万口当たり基準価額(C / D)	13,582円

(注) 期首元本額 3,859,807,262円、期中追加設定元本額 161,906,983円、期中一部解約元本額1,007,804,185円。当期末現在における1口当たり純資産額1,3582円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーファンドの組入元本額の内訳は、下記の通りです。

<組入元本額の内訳>

A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)	(適格機関投資家専用)	2,406,316,738円
A Bグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)	(適格機関投資家専用)	607,593,322円

○お知らせ

該当事項はありません。

○損益の状況 (2020年7月21日～2021年7月19日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	220,801,246 円
受取配当金	554,556
受取利息	220,356,389
支払利息	△ 109,699
(B) 有価証券売買損益	443,739,539
売買益	467,247,228
売買損	△ 23,507,689
(C) 保管費用等	△ 350,371
(D) 当期損益金(A + B + C)	664,190,414
(E) 前期繰越損益金	654,541,224
(F) 追加信託差損益金	31,508,351
(G) 解約差損益金	△ 270,701,655
(H) 計(D + E + F + G)	1,079,538,334
次期繰越損益金(H)	1,079,538,334

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。